

# 所弓便

## 第24号

### ∞ 各部報告 ∞

#### (令和元年5月末以降の主な出来事)

#### 会員数

11月末日現在の会員数は235名です。

#### 新会員

平成31年4月～令和元年11月末までに入会・再入会された皆さんです。

伊藤 駿 豊田佳隆 室岡玲菜 相澤俊彦  
 三原 礼 北川真由美 倉岡 志乃 比賀 仁美  
 佐藤智子 田中美咲 高橋みどり 鈴木 孝  
 目黒靖彦 目黒千恵子 内藤 愛 松村恵美  
 伊藤美和 市川雄己 大久保 郁 小澤美紀  
 許田ちひろ 久保貴寛 熊倉大介 駒井瑛未  
 斎藤祐介 高橋忠彦 高橋ひとみ 福永 鋼  
 南谷理香 宮本顕範 宮本ちなみ 安田絵理佳  
 山下聡子 山下友広 横田明加 吉川厚史  
 渡辺彰子

#### 昇格・昇段

令和元年5月20日から11月10日までに昇格・昇段された皆さんです。おめでとうございます。

教士 新家 透  
 錬士 奥富季乃  
 五段 渡部知実  
 四段 細川 博

三段 湯浅紀美子 轟 俊生

初段 松澤 綾 北川真由美 小泉恭子

#### 理事会・常任委員会・部長会

6月22日(土)

第1回理事会 (出席者7名)

- ・新道場建設の今後の方針について話し合いがなされた。
- ・部長会との関わりについて確認がなされた。

8月11日(日)

第2回部長会 (出席者12名)

- ・各部より事業経過の報告があった。
- ・新道場建設について、意見交換がなされた。
- ・今後の射会・初心者弓道教室・講習会等の行事についての確認。
- ・審査申込書に係る注意事項について報告があった。  
 ○記載内容は間違いのないように記入のこと  
 ○審査申込書については、道場長が最終確認を行う

8月18日(日)

第2回常任委員会 (出席者32名)

- ・部長会における打合せ内容を報告

#### 【総務部】

- ・5月31日 所弓便第23号発行

#### 第52回武州弓道大会

11月23日(土・祝)、令和最初の「熊野神社弓祭り武州弓道大会」が開催されました。

前日から降り続く雨の中、大会の盛況と無事を祈願して代表者が熊野神社に参拝し、会場である市民武道館へと向かいました。

昨年の快晴とは打って変わった悪天候の中、どれだけの弓友が参加して頂けるかとの心配をよそに、参加者539名と、過去最多で5年連続500人超えの大盛会となりました。



雨の中熊野神社にお参り

大会の詳細は以下の通りです。

- ・ご来賓：所沢市長 藤本正人 様、  
市議会議員 青木利幸 様  
教育長 内藤隆行 様  
市議会議員 秋田 孝 様  
連盟顧問 並木正芳 様
- ・矢渡：射手 石川淳子 錬士六段 (大会会長)  
介添 奥富季乃 錬士五段、渡部知実 五段
- ・競技：539名中予選通過者239名  
4射皆中者 35名
- ・優勝者：松本英悟 選手 (埼玉大学)
- ・所弓連会員入賞者：16位 藤田 良 選手

決勝射詰めでは、25位まで入賞のところ、4回目まで中て続けた23名が入賞を決めました。残りの24位、25位を18名で争うという熱戦となりました。優勝は7回目まで中て続けた埼玉大学の松本英悟選手が勝ち取りました。



表彰を受ける優勝者

競技は午後6時25分に終了。表彰式のあと片付けを終え、7時頃解散となりました。

当連盟最大のイベントであるこの武州弓道大会を無事盛会裡に終えることが出来ましたが、前夜の事前準備、当日の参加者受け入れ、競技の進行等々に尽力いただいた会員及びスポーツ少年団の皆様へ厚く感謝致します。

(成績表は5頁に掲載)

## 【指導部】

### 定期講習会

土曜講習会 (草賀 淳先生) (毎月第2土曜日)

5月～10月 受講者 延133名

昨年より参加者が大幅に増えています。

特に審査前は多くの参加が見られます。

水曜研修 (毎月第4水曜日)

5月～10月 毎回15名前後の参加です。

今年度は体配、射技をベースに担当の先生方にテーマを考えて頂いて行っています。

### 弓道教室

シンコースポーツ主催弓道教室

・期間：9月28日～11月2日

・毎土曜日 午後1時～4時半 全6回

・申し込み 29名

・入会 20名

指導部を担当して初めて多数の応募があり、不足の弓具もありましたが皆さん熱心に参加して頂きました。人数が多いので、教室では立射で的前から矢を飛ばす様になるまでを指導しました。

フォロー教室 11月16日～12月21日 (11月23日を除く土曜日午後 全5回) では先生方のご協力も得て、坐射を中心に体配、射技の研修を行なっています。

早く所弓連に馴染んで欲しいと思います。

### 所弓連 第3回 特別講習会

令和元年6月2日、今年も石川武夫範士九段をお招きして第3回特別講習会を開催しました。

石川先生は定刻よりも早くご来館下さり慌てましたが、お気持ちがありがたいです。

今回参加者は31名、五段以上の講習会ということで、昇段して初参加という方もいて、緊張の中にも石川先生の講習会に参加することが出来る喜びを感じておりました。

講習会は、関口研二五段による準備体操、廣瀬雅孝五段の先導による礼記射義、射法訓唱和の後、

射手 石川淳子 会長

介添 中村康代 五段 小島理恵 五段

による矢渡しで始まり、その後全員一手審査方式で行射を行ない、全体講評と個別講評を頂き午前の部が終了しました。



身振りを交え説明される石川先生

昼食休憩もそこそこに午後の部が始まるや石川先生は自ら弓を取られ、取り懸け、弓手、勝手の手の内、引分け等につき具体的に形を示しながら懇切な説明を頂きました。また、普段なかなか気付かない事や今さら聞けないような事などの質問にも気さくにご説明頂きました。

その後第二的を指導的として、個々に一手指導頂き、受講生は後ろの自由的で注意されたところを復習したり、大変充実した講習会となりました。

一手行射後に頂いた講評のメモを以下参考に掲載します。

- ・ 取懸けは身体の中央で。勝手は、手先でなく肘で弦を取りに行くようにする
- ・ 大三の勝手拳の位置は、脈所を額に付けてこぶし一つ斜め上に上げた辺り。流し過ぎは手力で引くことになる
- ・ 全体に引分けで右肘が下に下がる前納まりで引き足らずが多い
- ・ 大三で勝手拇指の弦との十文字、肘の張り上げが正しくないと、肘先を斜め後ろに引き下ろせず、前納まりとなる
- ・ 大三からの引分けは、手先の力を抜き、両脈所を両肘で矢筋に開いて行き、勝手は引き分けるに従って肘が下りた分だけ鞆が下りて来るように斜め後ろに引き納めて行く
- ・ 女子は胸弦が早く付くので、若干弓を照らし気味に引き分けるとよい
- ・ 基本は取懸けから十文字。手の内は握らず、身体全体で開く。線でなく面で捉える。
- ・ 指摘されたことは一週間やってみること  
どうしても合わなかったら捨ててよい
- ・ 打起しから大三に入る時、手の内の中で弓が回るが、打起しの段階で小指を締めると大三へ移行する際下の指が早く締め、弓の回転にブレーキがかかり、中指が離れてしまう
- ・ 上押しが過ぎると離れて手首が折れる
- ・ 取懸けから離れまで、作った手の内を崩さず残身まで育てる

### 【競技部】

#### 《所弓連主催射会》

5月 月例射会 (5月11日) (54名参加)

(三段以下)

1位 塩島佳代 2位 石塚正徳 3位 松澤充宏

(四・五段)

1位 安江仁美 2位 柚山博文 3位 中村徳海

(称号者)

1位 松寄 昇 2位 三好啓子 3位 石川淳子

## シンコースポーツ杯弓道大会(6月16日)

主催 シンコースポーツ株式会社

後援 所沢市弓道連盟

参加者74名(所弓連43名、その他31名)

## 団体

1位(他道場の方) 中根幸二 深見恵子

2位 岡井 陸(他道場の方) 下田 徹

3位 足立夕弦 中村千賀 廣瀬雅孝

〃 中村太一 清水公子 石川淳子

個人 1位 下田 徹 3位 中村康代

## 7月 月例射会(7月21日)(46名参加)

## (二段以下)

1位 野村優花 2位 小泉恭子 3位 足立夕弦

## (三・四段)

1位 飯尾 弘 2位 中村徳海 3位 安江仁美

## (五段以上)

1位 三好啓子 2位 粕谷吉一 3位 松寄恭子

## 8月 月例射会(8月11日)(50名参加)

## (三段以下)

1位 関口純子 2位 佐々木優奈 3位 野村優花

## (四・五段)

1位 柚山博文 2位 坂川隆人 3位 中根幸二

## (称号者)

1位 下田 徹 2位 小林孝則 3位 松寄 昇

## 10月 月例射会(10月20日)(40名参加)

## (二段以下)

1位 石塚正徳 2位 岡井 陸 3位 佐々木優奈

## (三・四段)

1位 中村徳海 2位 柚山博文 3位 深見恵子

## (五段以上)

1位 関口二郎 2位 藤田 良 3位 奥富季乃

## 第46回所沢市民弓道大会

令和元年9月8日(日)、秋の一日標記弓道大会が所沢市民武道館弓道場において、104名(学生55名一般49名)の参加を得て盛大に開催されました。

各部優勝者による総合優勝決定戦は、学生の部は上本修平選手が、一般の部は下田徹選手が見事栄冠を勝ち取りました。

## 《学生の部》

## (小・中学生の部)

1位 仲丸実里 2位 佐藤 結 3位 中村太一

## (高校初級の部)

1位 上本修平 2位 寺井江里子 3位 北中 茜

## (高校上級の部)

1位 菊池隆一 2位 新井悠生 3位 田口功将

・学生の部総合優勝 上本修平

## 《一般の部》

## (二段以下)

1位 山川 元 2位 斉藤健太郎 3位 関口純子

## (三・四段)

1位 深見恵子 2位 米澤真樹 3位 荒木大亮

## (五段以上)

1位 下田 徹 2位 藤田 良 3位 松寄 昇

・一般の部総合優勝 下田 徹

## 所沢市青少年三道大会(弓道の部)(11月10日)

(中学生以下21名、高校生54名、武道館)

60回目を迎える青少年育成所沢市民会議主催の青少年三道大会が開催されました。

## 《小・中学生の部 団体》

1位 スポ少A 岡井 陸 渡辺 蓮 上出純太

2位 スポ少E 野村優花 佐々木優奈

3位 スポ少B 山田朋佳 河内紗雪 仲谷穂乃花

## 《小・中学生の部 個人》

1位 山田朋佳 2位 佐々木優奈 3位 岡井 陸

## 《高校生の部 団体》

1位 所北高 小林愛花梨 野田桃子 森田月海

2位 所商高A 田口功将 三村龍也 浅川瑠誠

3位 所商高B 菅沼大輝 上本修平 新井悠生

## 《高校男子初級の部 個人》

1位 三村龍也 2位 上本修平 3位 田中連太

## 《高校女子初級の部 個人》

1位 宮野桃子 2位 野田桃子 3位 小林愛花梨

## 《高校男子上級の部 個人》

1位 浅川瑠誠 2位 菅沼大輝 3位 新井啓太

## 《高校女子上級の部 個人》

1位 鈴木乃杏 2位 石井佑奈 3位 西澤智美

## 《個人総合優勝》 宮野桃子(秋草学園)

## 第52回武州大会(11月23日)(参加者539名)

1位 松本英悟(埼玉大学) 2位 江原拓海(日本工業大学)  
 3位 五十嵐翔(栃木県鹿沼支部) 4位 大森陽平(蒼藤会)  
 5位 春山 萌(坂戸西高校) 6位 柿崎雅哉(野木町弓連)  
 7位 千葉智宏(早稲田大学) 8位 佐藤慈恩(坂戸西高校)  
 9位 川越俊彦(江東区弓連) 10位 篠原宏幸(東京第二)  
 11位 高野 聖(久喜市弓連) 12位 青木俊太郎(日本大学)  
 13位 渡辺竜矢(浦和北高) 14位 小池勇三(栃木県芳賀)  
 15位 野上洋平(大宮八幡) 16位 藤田 良(所沢弓連)  
 17位 鈴木遥名(浦和北高) 18位 小口琉矢(明治大学)  
 19位 相原正志(千葉・無所属) 20位 遠藤汰一(川越高校)  
 21位 長谷川雅亮(江東区弓連) 22位 小倉 真(日本大学)  
 23位 岸 遼河(坂戸西高校) 24位 谷合理央(川越高校)  
 25位 護守涼太(無所属)

## 《対外競技会》

## 第70回全日本弓道大会(5月2日、3日)

参加者9名 入賞者なし

## 入間市近隣親善弓道大会(5月5日)参加36名

## 《個人》

12位 小山 等

## 《団体》

入賞無し

## ねんりんピック県連予選大会兼埼玉県実年者弓道選手権大会(5月14日)

参加者 ねんりん3名 実年2名

今年もねんりん予選と実年者選手権を一緒に実施。

ねんりん選考選手 三好啓子

実年者 優勝 下田 徹

## 埼玉県弓道選手権大会等(5月25日、26日)

参加者 称号者の部:10名、有段者の部:6名

## 《称号者の部》

3位 三好啓子

## 《有段者の部》

該当者なし

全日本弓道選手権大会埼玉県代表選手該当者なし  
 関東三県及び全日本出場選手二次選考会候補選手  
 称号者の部 三好啓子

四・五段の部 補欠② 中村徳海

## 埼玉県弓道遠的選手権大会兼全日本遠的選手権大会出場選手選考会(7月7日)参加者16名

埼玉県弓道遠的選手権大会 入賞者なし  
 二次選考会出場選手 中村康代

## 全日本遠的選手権大会出場選手二次選考会(7月13日)

全日本出場選手 該当者なし

## 中部・西部支部親善射会(7月15日)参加11名

入賞者 9位 増田裕子 21位 奥富季乃

## 第31回県民総合体育大会弓道競技 中学生の部(7月20日)

## 団体女子の部

2位 所沢スポ少 野村優花 佐藤結 足立弓弦

## 個人女子の部

2位 所沢スポ少 野村優花

## 読売杯争奪 兼 県体予選 兼 寿射会(8月5日)

参加者162名

## 読売杯

1位 飯尾 弘 5位 中村徳海 8位 粕谷吉一  
 9位 下田 徹 11位 新家 透 12位 深見恵子  
 15位 土井恵美子

## 寿射会

寿A 1位 下田 徹 2位 関口二郎

寿B 1位 新家 透 3位 甲斐久歳

## 県体出場選手

(四・五段の部)

①中村徳海 安立倫生 飯尾 弘

## (女子の部)

- ① 澤田靖子 土井恵美子 中村康代  
② 深見恵子 黒木宝子 田中明子

## (称号の部)

- ① 新家 透 渡邊徳雄 甲斐久歳

西部支部選手権大会 兼 県武道大会選手選考会  
(9月1日) 参加者196名 スポ少22名

## 西部支部選手権

団体 該当なし

個人 2位 小山 等 3位 関口研二  
7位 植村亮子 8位 水口 清

## 県武道大会選考選手(後日出場選手決定)

男子 小山 等 関口研二 坂川隆人 藤田 良  
女子 植村亮子 深見恵子 増田裕子 小島理恵  
中学生の部

佐々木優奈 野村優花 岡井 陸 松野尾哲太  
佐藤 結 渡辺 蓮 西海太智 中村太一

## 県武道大会選手(10月27日決定)

男子 小山 等 藤田 良 関口研二  
女子 植村亮子 深見恵子

## 第31回県民総合体育大会(9月29日)

所弓連4チーム参加

## 《四・五段の部》

(近的)

団体 3位 所沢E 中村徳海 安立倫生 飯尾 弘

## 全日本実業団弓道大会(10月5日、6日)

市役所16名参加

女子団体 3位入賞

市役所A(安江仁美 田中明子 石川淳子  
増田裕子 松寄恭子)

個人男子の部 近的 5位 豊田佳孝

個人女子の部 遠的 3位 松寄恭子

## 東日本女子大会(10月13日) 台風の為中止

## スポーツ少年団交流大会(10月27日) 88名

初級の部 3位 角倉恵奈

男子の部 6位 中村太一

女子の部 1位 野村優花 6位 佐々木優奈

## 第137回 明治神宮奉納全国弓道射会

(11月3日) 参加者17名

4位 永島英男

## 第43回 埼弓連女子部弓道大会

(11月4日)

称号の部 1位 三好啓子

## 第22回 全日本官公庁弓道大会

(11月9日) 参加者9名

敢闘賞

所沢市役所 増田裕子 澤田靖子 松寄恭子

## 【スポーツ少年団】

(\*スポーツ少年団の記事は、一部重掲、  
各種射会記録は競技部にも掲載しています。)

スポーツ少年団をいつもご支援くださりありがとうございます。今年度は13名の入団がありました。また隔年開催のスポ少交流大会の運営にご協力いただいた方々には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

11月末 団員数： 39名

## 令和元年度スポーツ少年団初心者教室

(5月18日~6月22日まで 毎週土曜日) 全6回

参加者 14名 (小学生11名 中学生3名)

## 令和元年度保護者会総会(6月23日)

新入団員13名 (小学生10名 中学生3名)

## 全日本少年少女武道錬成大会(7月15日)

日本武道館

4チーム(12名) とも予選敗退

## 県民総合体育大会弓道 中学の部(7月20日)

秩父第一弓道場 20名参加

女子団体 2位

所沢スポ少D [足立夕弦、佐藤結、野村優花]

女子個人 2位 野村優花

## スポーツ少年団弓道交流大会(10月27日)

所沢スポ少主催 市民武道館

88名参加(内所沢30名)

個人戦 初級の部、男子の部、女子の部

初級の部 3位 角倉恵奈、4位 佐々木麻帆

6位 菅原壮流

男子の部 6位 中村太一

女子の部 1位 野村優花、6位 佐々木優奈

## ∞ 投 稿 ∞

## 弓道教士 はてさて

新家 透

(和令元年10月20日記)

あれは何時だったろう、五段の時か?だとしたら平成6年(1994)~平成9年の何時か、25年前。

手島 正 先生との話

我々「あと10年で教士になります。」

先生「でったい!無理だ。」

(絶対でなく、でったい…何度聞いてもそう聞こえた)

確かに、あれから25年かかった訳である。

我々とは、熊井紀一さんと私である。今のところ元気な私は、今年7月仙台審査で教士候補になった。

熊井さんは、9月、先に旅立った。

去年、くも膜下出血で倒れなければ一緒に教士だったはずだ!

今年、3月には星川三樹男さんを亡くした。

そして10月、本多政和範士の訃報を知った。

本多範士は、仙台審査で面接を担当して頂いた。

面接中の対話で、…前後の詳細はともかく…

「私も年ですから…」と言ったとき、書類をご覧になり「私と同年じゃないか」と叱責された。

それから3ヶ月。

面接の終わりに勇を鼓して「全日本大会での優勝おめでとうございます」との言に「有難う」と云って下さった。

さて、話は少し前、2月名古屋での審査、一次を通過し面接。

面接を担当されたのは、飯島正大範士。

この時は、飯島範士が上席で、質問をされたのも飯島範士だった。

(話はさらに戻って、六段認許の翌年、平成17年の面接も飯島範士だった。

その時は、松沢岳範士が上席で、飯島範士が主に質問なされた記憶が有る。…何故なんだろう)

話は名古屋に戻って、面接は、「今後も頑張ってください。」とのお言葉で終わり、直ぐ二次審査。

定め座で礼をし、立ち上がって一歩下がり、退場しようとして「あ!」と声を出してしまった。

その礼は、入場してすぐの礼。なぜか頭の中は矢渡しを終了し、…ああ終わった…と安堵した気持ちである。

矢渡しも礼の次は本座に向かうものを、何故、終わったと?

余りの失敗に、残念さよりも可笑しさが勝り、悔やむこともなかった。

そんなことで、2回連続(5月の京都は受審していない)で一次通過は有るまいと、

「柳の下に泥鰌が二匹はいないよ」に、

「それじゃあ、鰻でも捕まえて来れば」と云ってくれた人がいた。

どうか不真面目だと思わないでください。

はて、教士に合格して嬉しいのだろうか?

確かに多分少し嬉しい。

一つの目標を達成したから。そしてまた次の目標七段を目指して、審査に臨む心算でもある。

この頃、自分の死を考えることが有る。

あの世(?)で、四段も、錬六も、教士も、そして、範士も、同じ仲間として弓談義を肴に酌み交わしている楽しい場を夢見る。

これが、「大変嬉しい」でなく、「少し嬉しい」の心情を抱かせているのかもしれない。

参考になる話でもなく、取り留めの無い内容であるが、年寄りの繰り言と思ひ、お許しあれ。もともと、自分を年寄りと思いたくは無いが。皆さんに、日頃心安くお付き合い頂く事に感謝の意を表し、皆さんの昇段、昇格、そして健康を祈ります。

## 感 謝

### 奥富季乃

令和元年9月14日、関東地区臨時中央審査会にて、錬士合格をいただきました。会場は、横浜にある神奈川県立武道館です。

審査までの心境を振り返ってみますと、五段合格よりの数年は、それまで積み重ねたものの大部分を壊し、再度、今度は慎重に、それが正しいのかもわからずに、積みあげていったようでした。

小宮先生より「あなたは初めからやり直した方が早いわね。」と、お言葉を頂いたとき、これは、自分の考えを大きく変えていかないと、先に進めないと、教えていただきました。ですが、なかなかうまくいかず、頭で考えて動作しているのに、脳は違う動きを身体にさせようとしています。

今回の審査では、いろいろ良い事が重なりました。まず、横浜に住んでいる息子が会場まで送ってくれた事、着装が気持ちよく整えられた事、ひとりの時間がもてリラックスできたこと、そして気候も良く、自然も味方してくれました。緊張はありましたが、不安感がなく、思い切って行射できました。思い返すと、別の自分が私を動かしているような感覚でした。

おわりに、今回合格いただきましたのも、ご指導、ご意見いただき、一緒に稽古していただいた、先生、弓友の皆様のお蔭と思っています。これからもよろしくお願ひいたします。

## 五段審査を終えて

### 渡部 知実

私は、福島県の高校で弓道を始め、社会人になり所沢の地で再開し今に至ります。

もともと早気だったので、とても苦労した時期もありますが何とか克服しました。

四段を取得して8年。5年?前から五段に挑戦し始めましたが、数年審査をお休みし、今年になり再度挑戦したい気持ちになり、夏の明治神宮(不合格)、そして、11月の明治神宮五段審査に挑みました。

もともと練習量は多くないため、審査前の練習も限られた時間の中で一つ一つ注意されたことを意識し丁寧に引くことのみでした。

審査当日は、実技より学科が不安でしたがなんとか終わり、後の時間は射に集中するのみとなりました。今回は、立ち位置が三的とても恵まれ、いつもごこない襷掛けも前の男性と合わせる事が出来、射位に立っても心地よい緊張感を持つ事が出来ました。早矢、乙矢ともいつも注意されている、「平行に引き分けること、弓手は握らないこと」を意識し早矢がなんと的中。しかし、私の感覚では前離れになってしまったような。乙矢は、早矢とは異なり気持ちよく離れの中。審査で即中したのが初めてだったので嬉しかったです。

合格発表までは、早矢の離れが気がかりで、なんともいえない気持ちでしたが、番号を見つけた時は安堵感に包まれました。

今回、五段に昇段出来たのは、私の力だけではなく、ご指導頂いた諸先生方、支えて頂いた弓友のお蔭です。

第二の故郷で皆さんと弓道出来ることとても幸せです。本当に感謝の意しかありません、心よりお礼を申し上げます。

私は、知識も技術も同じ五段の方と比べたらとても劣っていますので、これからも、皆様のご指導を頂き、私なりのペースで成長し弓道と歩んでいきたいです。

今後どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 審査挑戦の再スタート

細川 博

11月10日熊谷にて四段審査に合格できました。道場で皆様からおめでとうと言われ、徐々に実感が湧いてきて嬉しさがこみ上げてきました。ご指導いただきました先生、先輩の方々に心より感謝いたします。

審査前は、長年指摘され続けている馬手が上に離れる悪い癖はなかなか治らず、また、中てようとして弓を握り込み弓返りがうまく行かない持病も再発し、合格の自信は持てませんでした。でもそのぶん緊張しないのではと思ったのですが、着替え中に袴紐の結び目がすんなり出来ず、地に足が着いてない自分に気づいてしまいました。ただ、最近は道場に長く居て自分なりに体配にも注意しつつ矢数もかけてきたことを思い返して、本番ではいろいろ考えず、会で(いつもよりは)持って、そして大きく離すことだけで行こうと決めました。それでダメならしょうがないと。この自分には珍しい思い切りが幸いしたのか、引分けでは思ったより冷静でいられ、何とか中てないという焦りの気持ちも不思議に出てこず、結果的に2中出来ました。

今から5年前に家内が弓道に興味を持ち教室に入会したとき、学生時代に経験があった私も再開したいという気持ちが高まり、教室終了後のフォローアップ練習から一緒に参加させてもらうことになりました。すぐに昔に感じていたあの弓の魅力が自分の中によみがえり、審査にも挑戦しましたがなかなか合格できません。参段取得から40余年が経って審査ではいつも最後尾、これも結構しんどく感じて3年くらい前から審査から遠のいていました。今回、定年になったことも契機になり思い切って再挑戦し、おかげさまで自分の合格報告を書くことが出来ました。

所弓連の恵まれた環境に感謝してこれからも稽古に取り組んで行きたいと思っています。今後ともよろしく願い致します。

## 三段審査を振り返って

湯浅紀美子

六月に念願の参段を頂くことができました。

その日は朝からお天気がはっきりせず、不安と焦りを感じながら少し憂鬱な気持ちで家を出ました。

大宮での審査は初めてで、電車で審査会場へ向かったのも初めてでした。大宮駅を下りると弓を持った方々が同じ方向へ流れて行くので、ドキドキしながら後を追うように付いて行きましたが、無事に道場に着き少しホッとしました。

私は重度のあがり症で、三段を受け始めたばかりの頃は頭が真っ白になって次の動作すら出てこなくなることがありましたが、この日は少し気持ちに余裕があったように思います。「何度落ちても、諦めないでまた受ければいい」そんな思いでした。

更にこの日は同じ段を受ける仲間と「今回はちょっと流れを変えたいね」と意見が一致し、ギリギリまで歓談していました。

そのおかげで緊張する間もなく審査の順番となり、いつもの道場での練習のような気持ちで引くことが出来ました。

このようないろいろな要因が重なった結果、とてもリラックスして弓を引くことが出来たのだと思います。

いつも温かく見守ってくださる先生方や先輩にはお稽古を通じて励ましいいただき、そこからもたくさんのお力をいただきました。

この大きなご恩を、今後どのようにお返ししていくかを考える日々を過ごしております。

出来ること、出来ないことはございますが、先生をはじめ、お世話になった方々へ、そしてゆくゆくは連盟の発展に貢献するつもりで、陰ながら出来ることを恩返ししていければと強く思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

## スタートライン

小泉 恭子

「パンッ!」「パンッ!」。階段を上る私の耳に懐かしい音が響き、思わず駆け上がりました。友人に誘われ赴いた平成最後の所沢市民武道祭。ガラス越しに見る袴姿の射手のみなさんの凛々しさに心を奪われるとともに、友人と内出血で黄色くなった左腕を見せ合い「私たち(クスリをやってる)やばい人みたいじゃない?」と笑いあった高校生活がよみがえってきました。

弓道は私にとって挫折の象徴の一つです。

「甲子園に行けそうな学校で」と志望校を決めた高校受験。中でも古典の蔵書が多く礼法の授業がある母校に胸を躍らせ入学し、平成の御代替わりで興味をもった日本文化・武道を自分も身に着けたいと弓道部の門をたたきました。

数ある都内高校の中で(当時は)強豪と言われていただけに夏までは巻き藁稽古まで。弓返りがおこらず痣だらけの左腕が半袖のセーラー服から覗いていました。それでも仲間たちとの鍛錬の日々は楽しく、弓道が持つ凛とした空気感に夢中になっていました。

しかし、通勤ラッシュにもまれながらの片道2時間の通学と、生来の不器用さが災いし、学業はおろそかに…。初めての試合に出られた頃、学校の文武両道の厳しいルールをクリアできずに、文化部に転部することになってしまいました。そのおかげか無事希望通りの進学はできましたが、私の中に後悔とも言えないくすぶった思いが残っていました。

2月3日、そんな甘酸っぱい思いが瞬時によみがえり、居ても立ってもいられず、その場で入会をお願いしました。今思えば先生方のご負担も考えず、本当に無謀で迷惑な行為だったと恥じ入るばかりですが、快く受け入れてくださったみなさまに心より感謝いたします。

令和元年11月10日、都内では令和の祝賀御列の儀が催されていたこの日、初冬の熊谷にて初段をいただくことができました。これもひとえ

に、不躰な私に丁寧にご指導をいただきました先生方、諸先輩方、そして一緒に弓を引く日々に歩みだした仲間たちのおかげです。本当にありがとうございます。

不器用さは相変わらずですが、やっとスタートラインに立てた私の弓の道。これからも精進してまいりますので、みなさま、どうぞよろしく願います。

## 私は最近何を思って道場に通っているか

(弦友会卒寿祝賀会(7月8日)に際して)

奥村 繁

◎あと一ヶ月足らずで満90歳になります。昭和4年、1929年の生まれです。

本日は 卒寿を祝って頂き有難うございます。今日は、日頃どのような思いをもって道場へ通っているのかをお話したいと思います。

◎先月防衛医大で初対面の医者から「付き添い人なしで、一人で来られたのですか」と云われ、吃驚しました。逆に私自身は、若い頃の感触が体内にまだ仄かに残っており、90年間、0.9世紀の歳月をも生きてきたとは信じられないのです。しかし、会計用語で言えば我が身は既に耐用年数を超えており、生きる能力は僅かな残存価値しかないと思われれます。

◎このように長く生きている事は、裏を返せば、今後の人生は長くはない、先が短いと云うことなのです。

だからといって、私には「いつ最後になるか」、「何時まで生きられるのか」ということが最大の関心事ではありません。「最後までどのように生きていくか」というのが問題なのです。生きる年月の「数」よりも生き方の「質」が重要なのです。生き方は人によって様々です。思い出に生きる人、生存期間を延ばす方策に腐心する人、衰えをそのまま受け入れて静かに終焉を待つ人もいます。

私は、残る時間に、「今現在、生きているのだ」という感覚を持ち続けたいと思っております。

◎私には幸い弓があります。しかし今まで通り修行を続けるわけではありません。私が目論むのは、高齢化で小さな矢尺になろうとすることへの抵抗です。体全体を使って天地左右に伸び、そして弓の中に体を入れるような引分けなのです。(今は会や離れはテーマとしません) 弱い弓でも矢が放物線を描かずに、まっすぐ的に向かうことを目指します。たまに、そのような射的中音があれば、生きる意欲は更に推し進められます。自分が出来たと思ったときに聞く的の音はご褒美なのです。

翻って橋田先生に思いを致しますと、九十台半ばで弱い弓を左右反対にして引いておられました。立派な弓歴・範士での自負、力学から導き出された独自の理論と実践、・・・ご自身の体力が大きく変わられても、なお射に向かわれる、その時先生はどのような思いであつたのか、私にはわかりません。しかし少なくとも、老化に立ち向かう強い気持ちをお持ちであったと確信しています。

◎以上の通り、私は大きな引分けを行う射を目標にしていますが、これも何時までも出来るわけではありません。それはそれでいいのです。出来なくなれば自然の流れに任せることとします。以上これが90歳で道場に通っている私の思いです。今日は本当に有難うございました。

## ∞ 会長月誌 (抄) ∞

令和元年

5月21日 体育協会理事会：

- ・平成30年度事業報告、決算報告
- ・令和元年度事業計画案、予算案の評議委員会向け資料確認

6月28日 体育協会評議員会：

- ・平成30年度事業報告、決算報告

- ・令和元年度事業計画案、予算何の決議
- 懇親会(草賀前監事、松寄先生、瀬賀先生、石川)

7月22日 第30回所沢シティマラソン大会

第1回実行委員会：

- ・大会役員決定
- ・計画案(昨年同様メットライフドームの利用不可)

7月24日 市役所スポーツ振興課訪問

- ・新道場建設の件

8月23日 体育協会理事会：

- ・令和元年度事業について
- 陸上競技選手権大会、会場改修工事のため開催なし
- 航空公園多目的グラウンド、8月から使用可能
- 12月1日 シティマラソン、走路係7名の要請

8月29日 三道大会打合せ：

- ・今年度の幹事は剣道連盟
- ・令和2年は11月15日開催予定

9月2日 シティマラソン大会実行委員会・競技記録部会：

- ・大会要項確認、業務分担、参加賞について

10月29日 シティマラソン第2回競技記録部会：

- ・事業計画・大会概要、業務内容・係り分担、予算(走路の早く終わるところは弁当不支給)、選手宣誓者の選出(当日誕生日で、所沢でスポーツ少年団に所属している選手から)、参加賞(日本光電社がシューズケースを提供)

## ∞ お悔やみ ∞

令和元年8月13日

錬士六段 熊井紀一 先生が ご逝去されました。(享年78歳)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

所沢市弓道連盟会報誌 所弓便 第24号

編 集 委 員 飯島稔凱 瀬賀邦夫  
沖田純子 北澤明子

発 行 日 令和元年11月30日

発 行 者 NPO 法人所沢市弓道連盟  
会長 石川淳子